

皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: はるき さん からの質問
クロシロエリマキキツネザルが
不思議な声で鳴いていました。
どういう理由で鳴いていたのですか?

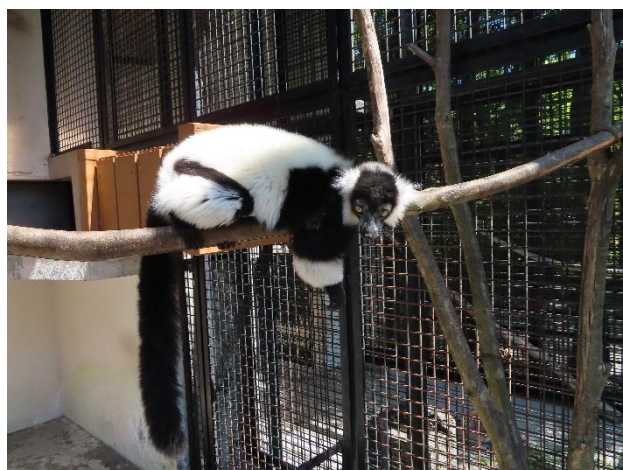
ご質問、ありがとうございます。

「ケンカをしているのかな?」と言われることもあるクロシロエリマキキツネザルの声。前触れもなく突然大きな声で鳴くので、びっくりした方もいるかもしれません。今回は、キツネザルの鳴き声とコミュニケーションについて解説をしていきます。



クロシロエリマキキツネザルは、アフリカ大陸の近くにあるマダガスカル島にだけ生息するサルの仲間です。

白黒の毛色で、首周りに白いえりまきをつけたように見えることから種名がついています。野生では、森の木の上で群れを作って暮らしており、地面に降りてくることはあまりありません。実は、クロシロエリマキキツネザルが大きな声で鳴く理由は、生活しているこの環境にあります。



木が生い茂った森の中では、群れの仲間の姿や、縄張りに侵入してくる個体の姿が見えにくくなります。そんな時、大きな声は、姿の見えにくい相手とコミュニケーションを取るのに役立ちます。クロシロエリマキキツネザルは「自分はここにいるよ」「ここは自分たちの縄張りだぞ」という意思表示のために鳴いているのです。野生で数十頭の群れている時は、全頭で一斉に鳴いて縄張りを主張するそうです。きっと、動物園で聞くより大きな声が聞こえるのでしょう。

ちなみに、当園にはもう一種類、シマシマのしっぽを持つワオキツネザルを飼育しています。こちらはクロシロエリマキキツネザルと同じく群れて生活をしますが、生活場所は対照的で、地面で生活する時間の多いキツネザルです。生活の仕方や、仲間とのコミュニケーションの取り方などにも違いがあるので、比べながら観察してみると楽しいかもしれません。